

アカガイの放流について、下記内容で大阪府を通じて令和4年7月20日に報道提供を行いました。

**アカガイの稚貝5万個を大阪湾に放流
2年で漁獲サイズ（約150グラム）に育ちます！**

（公財）大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の魚介類資源を増やすため、キジハタやトラフグなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさにまで成長させて放流する「つくり育てる漁業（栽培漁業）」を推進しています。

このたび、アカガイの稚貝を下記により放流を行います。

記

- 1 放流対象種 アカガイ

- 2 放流尾数 50,000尾（サイズ：殻長3cm）

- 3 放流日時・放流場所
 令和4年7月27日（水曜日） 9時00分から 堺市から岬町沖
 ※地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センターの
 調査船「おおさか」の船上より放流します。

- 4 その他 放流については、水産技術センターの技術指導を受けています。

（注）取材を希望される方は、事前に環農水研水産研究部水産支援グループ（電話番号072-495-5252）までご連絡ください。放流場所等の詳細について説明させていただきます。なお、当日の気象条件などにより、日程や放流方法を変更する場合があります。



放流するアカガイ稚貝



アカガイの放流風景